

2024年5月31日（金）
愛知県政策企画局国際課
国際戦略グループ
担当 上窪、中村
内線 2256、2448
ダイヤル 052-954-6130
愛知県経済産業局革新事業創造部
海外連携推進課
海外連携グループ
担当 富樫、山中、酒井
内線 5369、5181
ダイヤル 052-954-7474

知事の米国渡航中の行事結果について

2024年5月30日（木）午前、知事はアメリカ・カリフォルニア州で、ソフトバンクビジョンファンドを訪問し、シリコンバレーにおける投資状況や、生成AI関連への投資等について意見交換を行いました。

次に、経済産業省が設置した、日系スタートアップのシリコンバレーでの支援拠点ジャパン・イノベーション・キャンパスを訪問し、施設を視察するとともに、入居するスタートアップと意見交換を行いました。

午後には、ボーイングの完全子会社で、空飛ぶクルマの開発を進めているWisk Aero<sup>ウイスク
エアロ</sup>を視察しました。

続いて、トヨタ自動車^{トヨタ}が米国に設立したToyota Research Institute (TRI)<sup>リサーチ
インスティテュート</sup>を訪問しました。

1 ソフトバンクビジョンファンド訪問

（担当課：海外連携推進課）

（1）日時

2024年5月30日（木）午前10時から午前11時まで
（日本時間5月31日（金）午前2時から午前3時まで）

（2）場所

カリフォルニア州メンローパーク市

（3）主な応対者

アンジェラ・ドゥ パートナー

（4）愛知県側出席者

大村秀章知事

（5）内容

大村知事は、ソフトバンクグループの投資事業部門であるソフトバンクビジョンファンドを訪問しました。

始めに、ドゥパートナーから、愛知県におけるスタートアップ・エコシステム形成や、STATION Aiにおけるスタートアップの海外展開支援等の参考とするため、最近のシリコンバレーのスタートアップ投資マーケットの状況や、ソフトバンクビジョンファンドの運用状況、生成AI関連への投資、ヘルスケア分野での生成AIの活用などについて説明がありました。

大村知事からは、産業を中心とした愛知県の特徴や、2024年10月31日の開業に向けて整備を進めている STATION Ai などについて説明を行いました。

それを受けて、ドゥパートナーからは、「私たちも日本での規模を大きくしていきたいと考えている。STATION Ai とパートナーを組んで取り組んでいきたい。」「日米の懸け橋になりたい。」と発言がありました。

【ソフトバンクビジョンファンド概要】

設立：2017年

創設者：ソフトバンクグループ そんまさよし 孫正義

親組織：ソフトバンクグループ

会社概要：

ソフトバンクグループが運営する投資ファンド。

ソフトバンク・ビジョン・ファンド1 (S V F 1)、ソフトバンク・ビジョン・ファンド2 (S V F 2)、ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド (LatAmファンド) を運用。

SVF1、SVF2は、「ユニコーン」(投資時において企業価値が10億米ドル以上と推定される未公開企業)を中心に、テクノロジーの活用により各分野をリードする成長企業への投資を通して、AI革命を推進している。

LatAmファンドは、2019年に始動した、急成長するラテンアメリカ市場に特化し、データとテクノロジーを活用し産業の変革を目指す企業に投資。

○事業業績等

投資件数：470以上(2023年3月末)

投資額：1,471億ドル(約23兆円)(2023年3月末)



面談の様子



ソフトバンクビジョンファンド
アンジェラ・ドゥ パートナーとの記念撮影

2 ジャパン・イノベーション・キャンパス訪問

(担当課：海外連携推進課)

(1) 日時

2024年5月30日(木) 午前11時15分から午後0時45分まで
(日本時間5月31日(金) 午前3時15分から午前4時45分まで)

(2) 場所

カリフォルニア州パロアルト市

(3) 対応者

あかしひろよ
明石礼代 ジャパン・イノベーション・キャンパス所長
支援スタートアップ5社 (エンアイ eneye、ホンマ HOMMA、カイラス Kailas Robotics、ロボティクス KORTUC、コルタック RevComm、レヴコム)

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

(5) 内容

大村知事は、経済産業省が2023年11月に設置した、日本の起業家やスタートアップ等が活用できるビジネス拠点であるジャパン・イノベーション・キャンパスを訪問しました。

始めに、オフィスメンバー執務室やコワーキングスペース、イベントスペースの様子を視察した後、支援スタートアップ5社との意見交換を行いました。

意見交換において、大村知事は、産業を中心とした愛知県の特徴や、2024年10月31日の開業に向けて整備を進めているSTATION Ai等について説明を行いました。

スタートアップ5社からは、自社の事業内容やアメリカへの進出状況、今後の展開についての説明とともに、海外進出を検討している日本のスタートアップへのアドバイスとして、「世界に飛び出すことで、世界一流のスタートアップ・エコシステム関係者から評価される可能性が高まる」との積極的な海外展開を促す発言や、行政への要望として、「有望なスタートアップへの重点的な支援により、地域の成功事例を作っていくことが重要」との発言がありました。

これに対して、大村知事は、「愛知県では、STATION Aiによるプラットフォームに加えて、ジャンル別に、農業、モビリティ、デジタルヘルス、スポーツ、環境イノベーションなど様々なプロジェクトを実施しており、今後もそれらを通じて成功事例を作っていきたい。」と述べました。

【ジャパン・イノベーション・キャンパス概要】

設置者：経済産業省

開所：2023年11月12日

稼働開始：2024年1月

建物：地上2階、地下1階、地上階延床面積約860㎡

施設概要：オフィスメンバー個室 5室
コワーキングスペース 40席程度
会議室、キッチン等

建物管理：森ビルパロアルト株式会社

ビジネス支援：JETRO、アクセンチュア、アルケミスト

業務内容：ワークスペースの提供、ビジネスパートナーの紹介、
ネットワークイベントの開催 等

支援スタートアップ

- ・入居スタートアップ：5社（クローサー、クオリプス、ホンマ、コルタック、タイセット、Closer、CUORiPS、HOMMA、KORTUC、TieSet）
 - ・リモートメンバー：40社程度
- ※うち1社（シンクモフ、SyncMOF）が愛知県に本社を設置



視察の様子



STATION Ai を説明する様子



意見交換の様子



記念撮影

3 Wisk Aero 訪問

（担当課：海外連携推進課）

(1) 日時

2024年5月30日（木）午後1時から午後2時30分まで
（日本時間5月31日（金）午前5時から午前6時30分まで）

(2) 場所

カリフォルニア州マウンテンビュー市

(3) 応対者

ベッキー・タナー チーフ・マーケティング&ピープル・オフィサー
ジェニー・ラム 市場進出戦略・マーケティングディレクター

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

(5) 内容

大村知事は、ボーイングの完全子会社であり、旅客輸送用の自律型の電動垂直離着陸機（eVTOL）を開発している Wisk Aero を訪問しました。

まず、Wisk Aero のベッキー・タナー チーフ・マーケティング&ピープル・オフィサー及びジェニー・ラム市場進出戦略・マーケティングディレクターから企業概要について説明を受けた後、現在開発を進めている機体の展示機や設計室、自動運転研究室を視察しました。

Wisk Aero との意見交換で、大村知事は、「ボーイングとは、『航空宇宙産業においては、アメリカと日本の企業のアライアンスが重要であり、ボーイングと愛知県の企業でしっかり連携していこう』と確認し合ったところであり、空飛ぶクルマの分野でも連携協力していきたい。」と発言しました。

ジェニー・ラム市場進出戦略・マーケティングディレクターからは、「アジア太平洋の中で、日本・オーストラリア・ニュージーランドは重要なパートナーであり、市場である。」との発言がありました。

【Wisk Aero 概要】

電動垂直離着陸機（eVTOL）^{イーブイトル}の開発を進める先進的エアモビリティ企業。
2019年にアメリカのボーイングとキティーホーク（eVTOL 開発企業）の合弁により設立され、2023年にはボーイングの完全子会社となる。
合弁前の2010年からeVTOLの可能性を探ることに着手しており、これまでに1,750回以上の試験飛行を実施しながら、世界初となる4人乗りの無操縦者航空機の開発を行っている。
シリコンバレーの他、アトランタとニュージーランドに拠点を有する。



視察の様子



Wisk Aero ベッキー・タナー
オフィサーとの記念撮影

4 Toyota Research Institute (TRI) 訪問（担当課：国際課）

(1) 日時

2024年5月30日（木）午後3時から午後5時20分まで
（日本時間5月31日（金）午前7時から午前9時20分まで）

(2) 場所

カリフォルニア州ロスアルトス市

(3) 主な対応者

ギル・プラット Toyota Research Institute (TRI) 最高経営責任者 (CEO)
ジム・アドラー Toyota Ventures (TV) ファウンダー兼ジェネラルパートナー

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

(5) 内容

大村知事は、トヨタ自動車米国に設立した先端研究・開発を行う Toyota Research Institute (TRI) を訪問しました。

同社のギル・プラット CEO から、人工知能 (AI) 技術を利用したロボティクスや運転技術などに関する研究・開発などの取組について、説明を受けました。

また、同席した TRI の子会社として設立されたベンチャーキャピタル Toyota Ventures (TV) のジム・アドラー ファウンダー兼ジェネラルパートナーから、同社のスタートアップ支援に関する取組について説明を受けました。

大村知事からは、「愛知県は自動車産業をはじめ航空宇宙産業やロボット産業などが集積する日本一の産業県であり、その産業集積を背景に、世界中からスタートアップや事業会社を誘致し、スタートアップと事業会社とのオープンイノベーションの拡大に向けた独自のスタートアップ・エコシステムの形成を目指す取組を進めている。」と、英語で紹介しました。

また、「今年 10 月に予定している日本最大のスタートアップ支援拠点 STATION Ai の開業に向けて、国内外の企業、スタートアップ支援機関や大学等と連携関係を構築しており、TRI と TV 両社にも STATION Ai プロジェクトへご支援をいただきたい。」と PR しました。

その後、TRI でのロボティクスやヒューマン・インタラクティブ・ドライビングに関する最先端技術のデモンストレーションを視察しました。



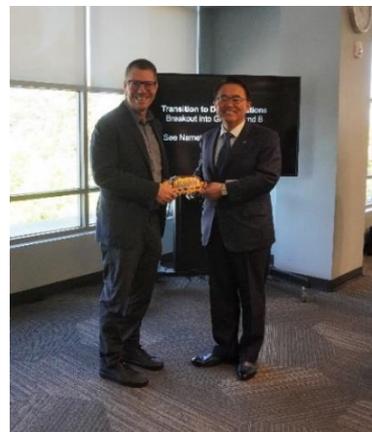
STATION Ai について説明する様子



意見交換の様子



記念撮影



Toyota Ventures ジム・アドラー
ファウンダーとの記念撮影